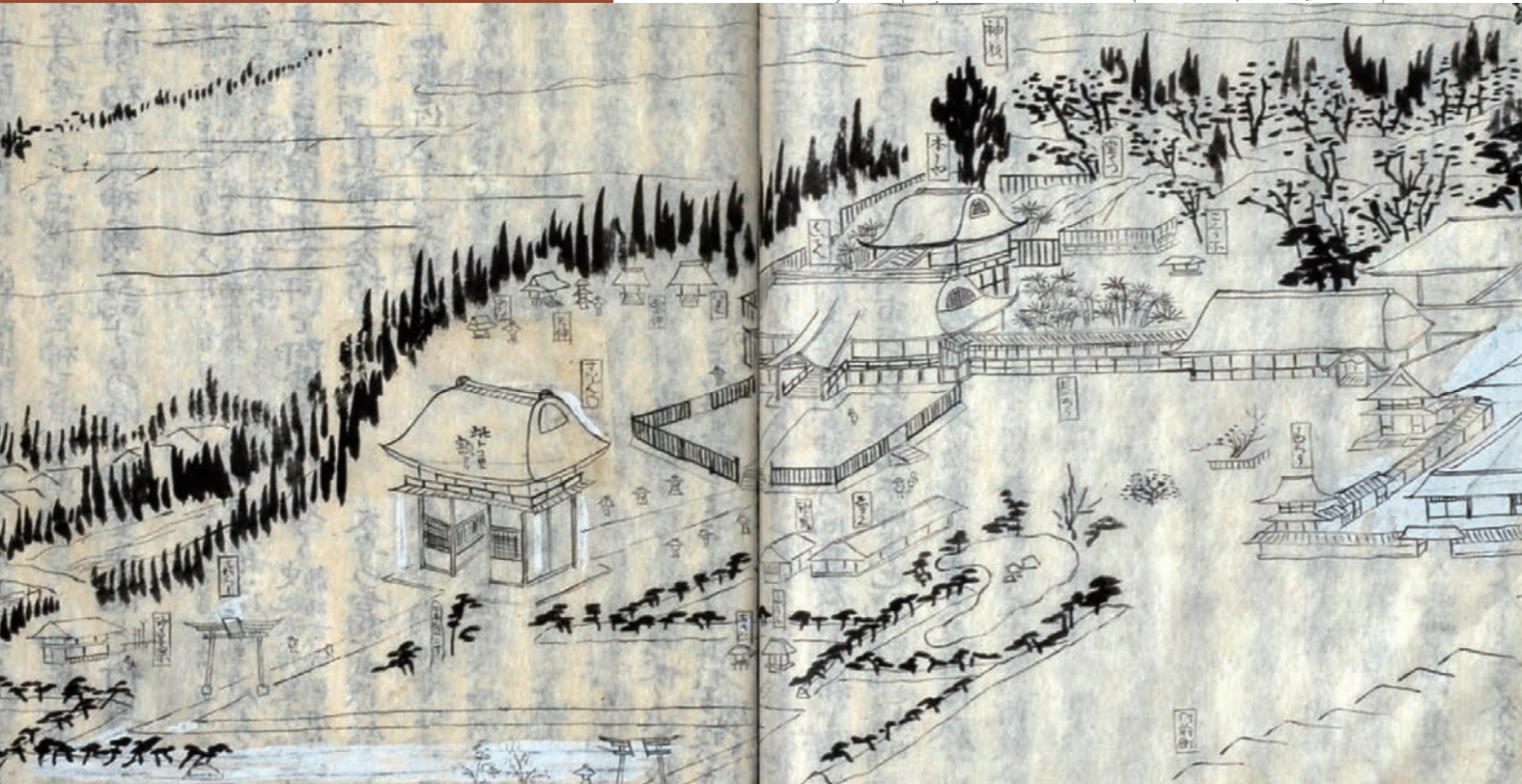


# あの頃の風景

おくのほそ道 第7回

## 交通の要衝 「岩沼」

株式会社片平エンジニアリング/ 道路交通部  
大角 直 Ohsumi Tadashi (会誌編集専門委員)



① 江戸時代の竹駒寺と竹駒明神。曾良の随行日記によると、芭蕉は竹駒明神の前を通り昼頃、武隈の松を見ている

阿武隈川の河口に位置する宮城県岩沼市。江戸時代までは「武隈」と呼ばれ、724(神亀元)年に多賀城が築城される以前から国府があったとされている。古くから、陸奥国(東北地方)と江戸・京都を結ぶ地として栄えてきた。

芭蕉の句にある「松は二木」とは市内にある「武隈の松(二木の松)」を指し、数多くの詠歌で知られる屈指の名松である。しかし、近隣の「竹駒寺」を開山した能因法師(平安時代中期の僧侶・歌人)が「松はこのたび跡もなし」と詠むほど、枯れたり、植えたりを繰り返してきた松である。1689(元禄2)年5月4日(現在の6月10日)、芭蕉はこの能因法師のことを思い浮かべながら、必ず見られるとは限らないこの松に、期待と不安を抱き

ながら岩沼の地へと足を踏み入れた。

そして千年近くの時代を経て、いくつかの困難を繰り返しながらも、この地でしっかりと根元で結ばれ二方向に高く聳える松に感激し、江戸を出て3ヶ月間待った甲斐があったとこの句を詠んだ。この句は、弟子の挙白からの餞別の句に込められていた。この句は、弟子の挙白からの餞別の句に込められていた。

ちなみに、この松の近隣にある「竹駒明神(竹駒神社)」は平安時代初期の842(承和9)年、役人・歌人であった小野篁が国司として赴任する際、伏見稻荷大社に詣で、陸奥開拓の守り神として、この地に創建されたと伝えられている。江戸時代にこの地を治めていた伊達家の歴代当主や岩沼藩主であった古内家からのあついで



③(上) 現在の武隈の松(7代目)、樹齢は約200年と推定されている

②(左) 江戸時代の武隈の松、奥の細道では次に訪れた「笠嶋」と「武隈の松」の順番が逆になっている。それだけ武隈の松に感動した芭蕉の紀行文に対する遊び心が伺える

⑤(右) 岩沼バイパス開通時の様子。1963年の開通時は、中学生のブラスバンドを先頭にパレードして、歓迎を受けた

④(下) 現在の岩沼バイパス。1日5万台の交通量を捌く大動脈となっている



信仰のもと、農業や産業振興の神として発展し、今でも東北地方を代表する初詣の地として知られている。

岩沼は、律令制における畿内七道の「東山道」と「東海道」、江戸時代には「奥州街道」と「江戸浜街道」、明治時代には「陸羽街道」と「陸前浜街道」と、名称や経路が変わっていったものの、仙台と江戸とを結ぶ山側と海側の街道の分岐点としての役割を担い続けてきた。

また江戸時代には、岩沼城の城下町、宿場町、竹駒神社の門前町などの様々な賑わいを持ちつつ、明治時代になると、地の利もあり、軍馬生産、養蚕、機織業、醸造業などの産業が興った。昭和に入り自動車交通の時代になってからも、国道4号と6号が交わる交通拠点となり、さらに岩沼バイパスが作られ、かつ車線を拡幅するなど、パルプやゴム製品などの工場立地や増大する交通量に合わせて道路が整備されてきた。

1970(昭和45)年には岩沼市が誕生し、国道沿いの既成市街地に加え、仙台空港周辺の物流拠点、臨空工業団地等の新たな産業が発展した。

2011(平成23)年3月11日、仙台空港等の臨海部に津波が押し寄せ、岩沼市域の48%が浸水し、伊達政宗が造り始めた貞山運河をはじめ多くの文化財も被害を受けた。

震災後、宮城県により貞山運河の再生・復興ビジョン

が策定された。岩沼市ではクロマツの防潮林があった海岸線一帯について、震災廃棄物の再生資材を活用した丘を築造し、その上に植樹することで、津波の威力を減衰・分散させるとともに、避難場所や生物多様性の拠点となる「千年希望の丘」の整備を進めている。

2013(平成25)年11月、武隈の松は、おくのほそ道の風景地として、国の名勝指定を受けた。芭蕉が詠んだ武隈の松は5代目、現在の松は7代目となるが、今も岩沼の街を見守っており、古のままV字に伸びる姿はまさに二つの街道をしっかりと支える岩沼の役割を象徴しているようだ。

平安時代から何度とない困難に見舞われたであろう武隈の松は、岩沼の人々に愛されながらそれを乗り越え、この地でしっかりと生き続けている。さらなる発展を目指し、千年以上続く街の「希望」とともに輝き続ける存在であってほしい。

<参考資料>  
『子ども岩沼市史』岩沼市史編集委員会 平成24年

<取材協力・資料提供>  
岩沼市教育委員会市史編集室

<写真提供・出典>  
①、② 『奥州名所図会』宮城県図書館蔵  
③、⑤ 『子ども岩沼市史』岩沼市史編集委員会  
④ 大角直